

第206回研究科委員会・第309回教員会議 議事要録

日時：令和2年8月26日（水） 13：30～15：10

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議事に先立ち、学類長より8月23日（日）及び25日（火）の危機対策本部会議の内容について説明があった。

- ・本学学生4名が新型コロナウイルスに感染したため、今週の対面授業が中止になった（遠隔授業は継続）
- ・来週から対面での授業を再開する
- ・学生行動ガイドラインが更新されるので一読されたい
- ・授業時だけでなく休み時間等も気を付けるように、学生の意識レベルの向上に努めていただきたい
- ・研究室の複数の学生の感染に注意願いたい
- ・来週から、感染防止のための学内パトロールを実施する

議題

研究科委員会

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和2年度3月修了修士博士論文・最終試験の日程について

資料1に基づき、修士論文・最終試験は2月16日（火）に、博士論文・最終試験は2月17日（水）に実施したいとの提案がなされ、承認された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和2年度10月期及び令和3年度4月期入学大学院入試合否判定について

回収資料に基づき、博士前期課程は共生システム理工学専攻40名、環境放射能学専攻2名、博士後期課程は3名の合格者が提案され、承認された。

(2) 令和3年度共生システム理工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）第2次学生募集の実施について

資料2に基づき、博士前期課程共生システム理工学専攻10名程度、環境放射能学専攻若干名、および博士後期課程共生システム理工学専攻・環境放射能学専攻ともに若干名の2次募集を行うことが提案され、承認された。

また、国費で入学予定の留学生在が新型コロナウイルスの影響で入国できなくなったため、この学生については再入試を行うことになったとの説明があった。

3. 学生生活委員会

(1) 令和2年度入学料免除選考結果について

回収資料に基づき、特に災害枠についての説明とともに選考結果が提案され、承認された。

[その他]

1. その他

特になし

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 全学認証評価WG

(1) 大学機関別認証評価受審に向けた「教育の内部質保証」の各種取り組みロードマ

ップについて

資料3の全学FDロードマップに基づいて具体的な活動を進めていくが、今年度は特に学類独自の活動履歴を残すことが課題である。今後、カリキュラムFD委員を選出し、9月には学類FDを実施し授業の改善に繋げていきたい、との説明があった。

[その他]

1. その他
特になし

教員会議

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 毒物劇物取扱責任者資格について

資料4に基づき、説明された。文言や危険物取扱者との相違などについて質疑応答がなされ、対象が化学系であることや認定の条件などが確認された後、文言をもう少しわかりやすくする条件で承認された。

2. 学生生活委員会

(1) 令和2年度入学料免除選考結果について

回収資料に基づき、今年度から日本学生支援機構(JASSO)で認めることになったことや、国の修学支援新制度(JASSO給付奨学金)が実施されるようになったこと、新型コロナウイルスの影響で発表時期が1か月以上遅れたことなどが説明された後、承認された。

[報告事項]

学生生活委員長長の都合により、先に3.(1)を報告した。

1. 学類長

(1) 働き方改革への対応について

年休5日の取得が義務化されているので計画的に取得していただきたい、代休と振替休暇についても取得していただきたい、勤務時間申告書の提出も協力いただきたい、とのアナウンスがあった。

2. 教務委員会

(1) 研究室配属希望結果について

資料5に基づき、報告された。

(2) 転学類・転専攻の結果について

資料がプロジェクター投影され、産業システム工学専攻から人間支援システム専攻への1名の転専攻が認められたこと、転学類については該当者がいなかったことが報告された。

転専攻の条件や基準等についての若干の質疑応答がなされた。

(3) 第29回全学教務協議会について

(報告事項)

・前期成績の不服申し立ての対応方法について

資料6に基づき、不服申し立て受付後の教員の対応方法として、今回はオンライン面談やメール連絡等も可であることが報告された。

・健康運動科学実習の後期開講に伴うCAP除外措置について

資料7に基づき、今回に限りCAP除外措置の対応とすることが報告された。

・全学FD研究会の日程について

今年度も10月29日(木)に実施することが報告された。

- ・集中講義受講者への注意事項について

資料 8 に基づき、受講学生への注意事項が説明された。学類長より、授業時間以外にも注意するよう学生を指導いただきたいとのアナウンスがあった。

(4) 第 3 1 回全学教務協議会について

(審議事項)

- ・令和 2 年度後期授業の授業形態調査結果について

資料 9 に基づき、演習等に利用可能な会議室等一覧、学類演習室の利用形態、共通講義棟の教室使用状況、後期開講科目の履修登録者と教室シミュレーション結果や学生への連絡事項が説明された。

- ・令和 2 年度後期教務関係スケジュールの変更について

資料 1 0 に基づき、大学祭中止や大学入学共通テスト実施に伴う授業日程と教務関係スケジュールの変更点や、履修登録期間を早めて履修状況を把握することとなった等が説明された。

(報告事項)

- ・夏の集中講義担当講師への注意事項について

資料 1 1 に基づき、報告された。

3 . 学生生活委員会

(1) 1 年生交流会について

資料 1 2 に基づき、1 年生交流会の開催について報告された。併せて、アドバイザー教員には学生の帰りの時間帯が重ならないように工夫いただきたいとの依頼があった。

4 . 全学認証評価WG

(1) 大学機関別認証評価受審に向けた「教育の内部質保証」の各種取り組みロードマップについて

「共生システム理工学専攻会議 [報告事項] 1 . 全学認証評価WG」で済み。

5 . 奨学寄附金等の受入れについて

奨学寄附金 4 件、共同研究 3 件、受託研究 1 件が報告された。

[その他]

1 . その他 (学類長)

(1) 各種委員の変更について

本学類准教授の休暇・休業期間中の、男女共同参画推進専門委員及びハラスメント相談員の変更について報告があった。

(2) 教員が関係する事案の紹介と注意喚起について

事故や備品の紛失、学生による機器の破損の場合などは速やかに支援室へ報告していただきたい、保険で対応可能な場合もある、とのアナウンスがあった。

教育研究評議会

第 3 3 9 回 (7 月 1 3 ~ 1 6 日開催 (書面)) 報告

[審議事項]

(1) 平成 3 1 事業年度に係る業務の実績及び第 3 期中期目標期間 (平成 2 8 ~ 3 1 事業年度) に係る業務の実績に関する報告書 (案) について

資料 1 に基づき、報告された。

第 3 4 0 回 (8 月 4 日開催) 報告

[審議事項]

(1) 教員人事について

教員の休職について提案があり認められたと説明があった。

[報告事項]

- (1) 令和元事業年度決算について
資料 2 に基づき、報告された。
- (2) 令和 3 年度概算要求について
資料 3 に基づき、報告された。
- (3) 令和 2 年度授業日程の変更について
資料 4 に基づき、報告された。
- (4) 令和元年度監事監査結果について
資料 5 に基づき、報告された。
- (5) 令和 2 年度監事監査計画について
資料 6 に基づき、報告された。
- (6) 令和元年度「 F U R E 活動報告」及び令和 2 年度「 F U R E 事業計画」について
資料 7 に基づき、報告された。
- (7) その他
大学改革セミナーの開催について
8 月 1 8 日 (火) に岩手大学の元学長を招いて令和 2 年度大学改革セミナーを開催したと報告があった。

運営会議

第 1 4 3 回 (7 月 1 4 日開催) 報告

- (1) 令和 2 年度学長表彰について
資料 2 に基づき、研究や社会貢献の分野で本学類からも 3 名の教員が表彰されたことが報告された。
- (2) 勤務時間申告書の提出について
資料 3 に基づき、勤務時間申告書の提出が 1 0 0 % になるよう協力いただきたいとのアナウンスがあった。
- (3) 福島大学基金 (旧学生教育支援基金、旧リノベーション基金) の支出について
資料 5 に基づき、報告された。
- (4) 緊急学生支援奨学金の審査結果について
福島大学緊急学生支援奨学金への申請があり、審査が行われたと報告があった。
- (5) 電気・ガス・水道使用量について (4 ~ 6 月分)
資料 7 に基づき、令和 2 年 4 ~ 6 月分の電気・ガス・水道使用量及び令和元年度光熱水使用料 (金谷川) については、前年に比べて大きく削減された、と報告された。

第 1 4 5 回 (8 月 2 5 日開催) 報告

- (1) 令和 2 年度内部監査基本計画について
資料 2 に基づき説明があり、学術情報・大学間連携担当副学長からも必ず監査があるのでご承知おきいただきたいとのアナウンスがあった。
- (2) その他
特定年俸制にかかる個別説明会の開催について
「特定年俸制」に関し、希望者に個別説明会を開催すると、報告があった。
電気・ガス・水道使用量について (7 月)
資料 3 に基づき、7 月の電気・ガス・水道使用量についても大きく削減された、と報告された。